

第2章

第3次基本計画 施策別計画

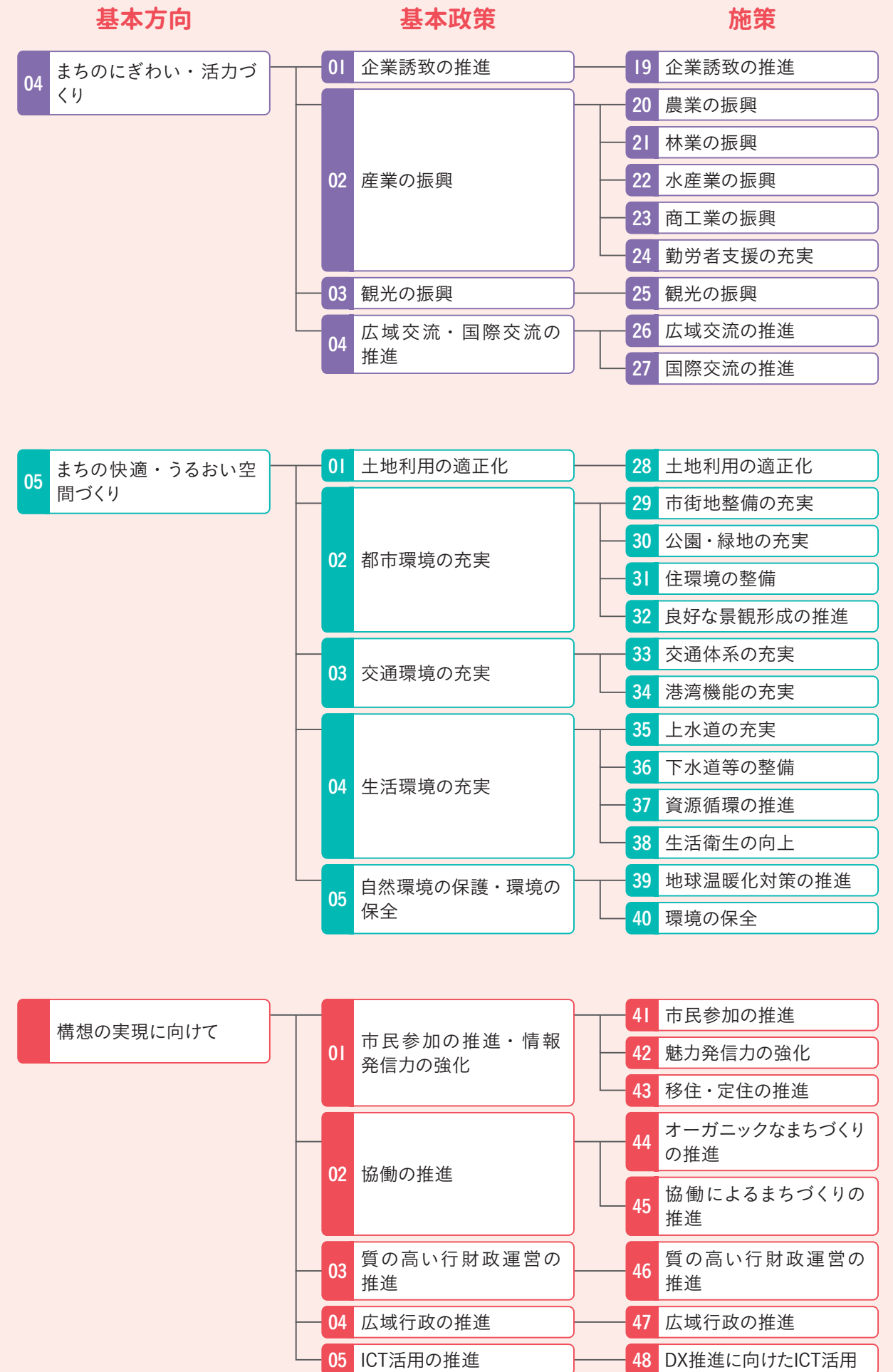
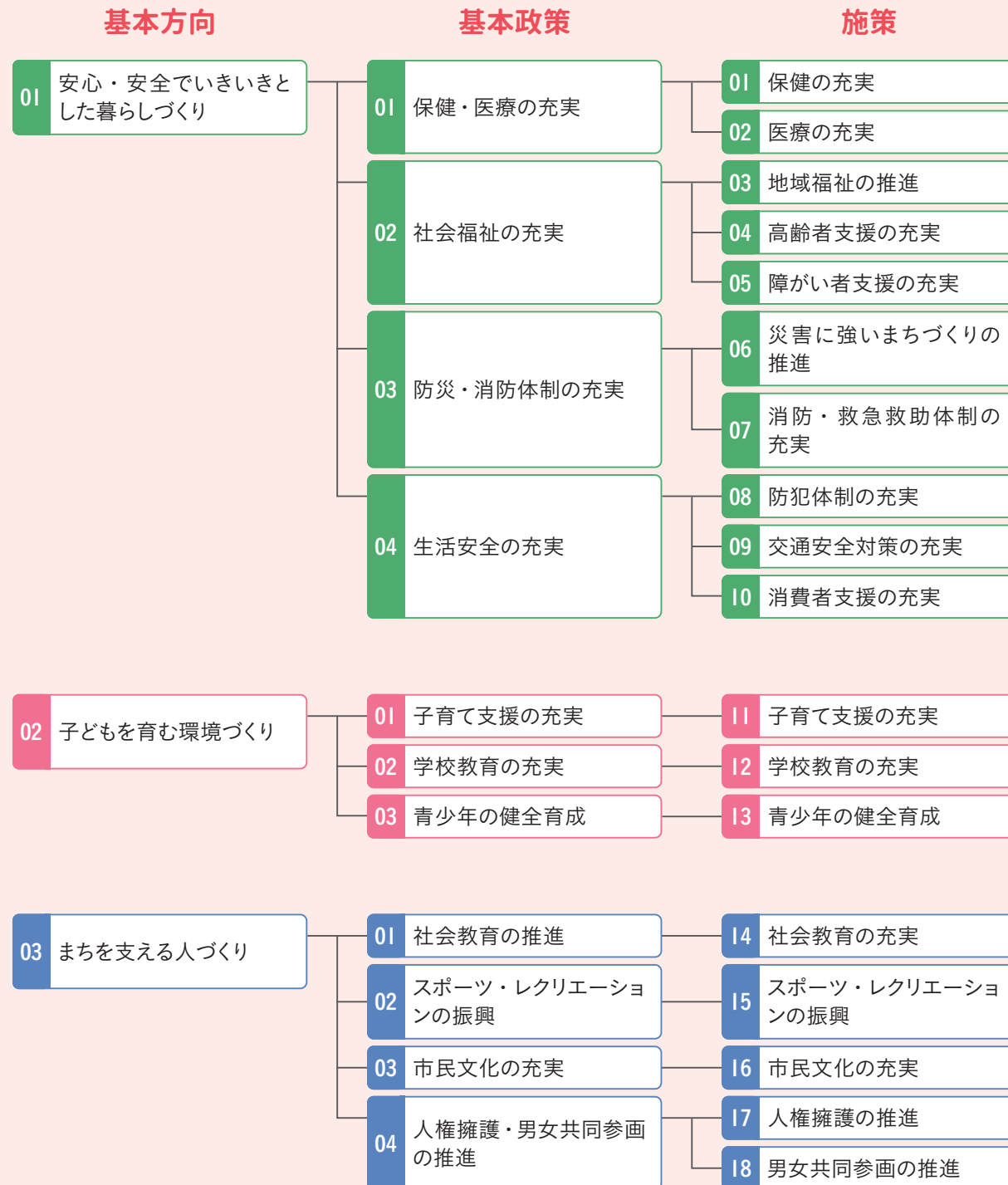
KISARAZU TRANSFORMATION

KISARAZU TRANSFORMATION

- 施策体系
- 施策の見方
- 基本方向01 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり
- 基本方向02 子どもを育む環境づくり
- 基本方向03 まちを支える人づくり
- 基本方向04 まちのにぎわい・活力づくり
- 基本方向05 まちの快適・うるおい空間づくり
- 構想の実現に向けて

施策体系

第3次基本計画では、基本構想に定める
5つの基本方向等に基づき、全48施策に取り組みます。



施策の見方

目標

計画期間における
施策の目標

現状

「目標」の実現に向け、これまでの取組や成果等を踏まえた施策の現状

課題

現状を踏まえた、優先的に解決すべき主要課題

課題解決に向けた方向性

現状と課題を踏まえた、計画期間における施策の方向性

DX・GXの視点

デジタル化やゼロカーボンの推進に向けた取組の方向性

基本方向及び基本政策における位置づけと、施策の名称

SDGsへの貢献

施策に関連性の高いSDGsのゴール

オーガニックなまちづくりに向けた取組

- ・「オーガニック」の概念及び「オーガニックなまちづくり」の基本理念と施策の関連性
- ・施策実現に向けた市の取組と市民等の取組

基本方向01 安心・安全でいきいきとした暮らしづくりー 基本政策01 保健・医療の充実

施策01 保健の充実

SDGsへの貢献



- 目標 ▶▶ 生涯を通じて健康でいきいきと暮らせるまちをめざし、市民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組む環境を整備します。

現状

- 本市の生産年齢人口は減少傾向にあり、また、高齢化率は令和4年度(2022年度)が27.8%で、県平均の27.5%を上回っています。
- 本市の死因の半数以上はがん、次いで心疾患、脳血管疾患などの「生活習慣病」が占めており、そのきっかけとなる肥満は若い世代から増加しています。
- 新型コロナウイルス感染症は、市民の健康や生活・社会環境に大きな影響を及ぼしました。

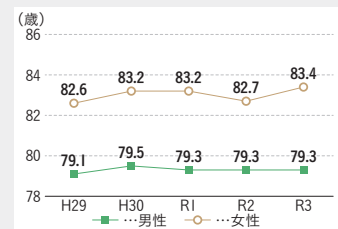
課題

- 超高齢社会の到来により、高齢者の健康維持、医療費の抑制は喫緊の課題です。
- 健康寿命の延伸、健康格差の縮小を図るため、ライフステージごとの特性・課題を把握し、健康無関心層も含めた健康づくりに向け、生活習慣の形成に取り組む必要があります。
- 市民の感染症予防のため、日頃からの健康増進、感染症やワクチンに関する知識の普及啓発、各種ワクチン接種率の向上や、新たな感染症発生時に迅速に対応できる体制の構築が必要です。
- 市民が健康増進センター「いきいき館」を安全に利用できるよう、計画的な修繕が必要です。

課題解決に向けた方向性

- 子どもの頃からの健康な体づくりと将来の生活習慣病予防のため、基本的な生活習慣の確立ができるよう正しい知識の普及啓発を推進します。
- がんの早期発見や生活習慣病の発症・重症化予防等のため、各種検(健)診の受診率向上や保健指導の充実を図ります。
- 高齢者の生活習慣病の重症化予防やフレイル予防に向けた保健事業を実施します。
- 生活習慣病の発症にもつながる可能性のある歯科疾患の予防のため、ライフステージに応じた歯科保健事業を推進します。
- 関係機関との連携を図り、予防接種による感染拡大防止など感染症対策に係る体制を構築します。
- 健康増進センター「いきいき館」の修繕など、必要な対策に取り組めます。

【健康寿命(平均自立期間)】



出所：国保データベースシステム

DXの視点

- ・SNSを活用した情報発信の充実
- ・らづFit・らづBodyの活用促進
- ・健診データを分析し、保健指導に活用

GXの視点

- ・歩くことによる効果の周知・啓発
- ・健康増進センターにおける再生可能エネルギーの導入、省エネルギー化

オーガニックなまちづくりに向けた取組



自立

循環

共生

市の取組

- ・あらゆる場面で健康のための意識啓発を行います。
- ・保健指導や相談、情報提供に取り組めます。

市民等の取組

- ・がん検診や特定健康診査など各種検(健)診を積極的に受けます。
- ・健康を意識して、自発的に健康づくりに取り組めます。

主な取組

01-1 | 健康づくりの推進 【健康推進課・福祉相談課】

- ▶妊婦や幼少期における基本的な生活習慣の確立に向け、「早寝早起き朝ごはん」の普及啓発を推進します。
- ▶健康アプリ「らづFit」や体組成計「らづBody」の活用等により、体重管理や食事、運動、睡眠、休養など、健康を自己管理できる環境づくりを推進します。
- ▶がんの早期発見・治療のため、がんに関する知識の普及啓発やがん検診受診率向上に取り組めます。
- ▶高齢者の生活習慣病の重症化予防やフレイル予防のため、栄養、口腔、服薬管理等を支援します。
- ▶フッ化物洗口実施校数拡大のための体制構築や歯科健診の受診率向上に取り組めます。
- ▶感染症やワクチンに関する知識の普及啓発、各種広報による予防接種率の向上、新たな感染症への対応を迅速に行います。また、平時から医師会や関係機関と情報共有を図り、感染症発症時に速やかに対応できる体制を構築します。
- ▶心の健康や自殺対策に関する正しい知識の普及啓発に取り組めます。

01-2 | 健康支援体制の充実 【健康推進課】

- ▶市民の健康情報や支援内容等のデータを管理・分析し、健康リスクの高い市民へ必要な情報を提供し、支援に結びつけます。
- ▶市民のライフステージにおける切れ目のない健康支援ができるように、健康教育・相談支援等の保健事業の充実に取り組めます。
- ▶健康増進センター「いきいき館」の適切な管理を行い、市民が安全に利用できる環境を整えます。

01-3 | 生活習慣病の発症・重症化予防 【保険年金課・健康推進課】

- ▶各種検(健)診の予約、遠隔保健指導、健康アプリ等のICTを活用して、市民の利便性向上に取り組めます。
- ▶各種検(健)診結果及び医療データをもとに、受診者の健康状態の階層化を行い、個別性の高い保健指導を実施します。
- ▶保健、医療、介護に関するデータを分析し、医師会、歯科医師会、薬剤師会と連携して市民の健康課題への対応に取り組めます。

指標	現状値	目標(令和8年度)	備考
健康寿命	男性 79.3 歳 女性 83.4 歳 (令和3年)	男性 79.9 歳 女性 84.1 歳	生活習慣病の発症・重症化予防により、平均自立期間(要介護2以上)の延伸をめざす。
特定健康診査受診率	42.9% (令和3年度)	47%	各種普及啓発活動により、国民健康保険被保険者(40歳から74歳)の受診率向上をめざす。

関連する個別計画

健康ささらづ21 / 木更津市食育推進計画 / 木更津市国民健康保険保健事業計画(データヘルス計画) / 木更津市自殺対策計画 / 木更津市新型コロナウイルス等対策行動計画 / 木更津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 / 木更津市DX推進計画

主な取組

施策配下に位置づけられた主な取組(括弧内は担当課名)

指標

施策目標の実現に向けた具体的な指標
「現状値」の記載について

「年度」の場合

→当該年度の合計、または年度末の値

「暦年」の場合

→当該年度の合計
※暦年に〇月時点とあるものはその年度における当該時点の値、または累計値

関連する個別計画

施策に関連する主な個別計画